



こどもの可能性は無限大

コペル

コペルウェイブック
WAY BOOK

CONTENTS

はじめに	01
ミッション・ビジョン・バリュー	02
Mission (ミッション)	03
Vision (ビジョン)	05
Value (バリュー)	07
■ 美しい心	09
■ 求める心	15
■ 誇れる心	21
コペル川柳	27
感動ストーリー	31
小学生対象調査 分析結果報告書	45

はじめに



「徳育」

時代が求める“人間力”のために

現代ほど「道徳的規範」が求められている時代はないかもしれません。古代から、あらゆる哲学者や思想家によって“人格”の大切さが唱えられてきました。人間はいくら“学力”を育てる「知育」のみを積んだとしても、“人格”を育てる「徳育」を欠いてはバランスを失ってしまいます。現代では、科学技術の発達により、暮らしの豊かさが増す一方で、一步道を踏み誤れば人類を滅亡に導きかねない“倫理的問題”が常に私たちの生活と隣り合わせにあります。いま、世界は変革の時に差し掛かっていると言われています。科学の進歩を追い求めた20世紀の終結を経て、新時代に世界が求めるのは“人間力”、すなわち“知”と“心”が十分に発達した人材です。実りのある人生を送るために。よりよい社会を創るために。新しい時代を、力強く生き抜くために。いま必要とされているのは、心を育て、人格を高める「徳育」です。新たな世代が生きる国や世界が健全なものであるか否かは、いまの時代がどれだけ「徳育」に真剣に取り組むことができるかに掛かっているのです。

株式会社コベル

代表取締役社長 大坪 信之



「ミッション・ビジョン・バリュー」



Mission

わたしたちの使命

子どもの瞳が輝くとき、 美しい未来がはじまる

わたしたちは「瞳が輝く」教育を届けます。

私たちは、子どもの瞳が輝く教育を届けます。

私たちは、人と人が協力し合い社会を築き上げるのに必要な「徳育」を大切に、
子どもの瞳を輝かせます。

そんなコベル卒の瞳輝く子どもが大人になり、
世の中を変えて世界は平和になっています。

50年後「コベルがあってよかった」といってもらえるような
平和な世の中になりたいです。

そんな美しい未来は子どもの瞳の輝きからはじまります。



Vision

わたしたちの目指す未来

02

Vision

わたしたちの目指す未来

「幸福な家庭」を追求する 世界一の企業へ

「愛に満ちた」平和な世界をつくります。

私たちは、子どもの瞳を輝かせ、美しい未来をつくります。

子どもの瞳を輝かせる中で、子どもたちだけでなく、

お母さん、お父さんの関係を大切に考えます。

私たちは、家庭に寄り添うことで、

子どもたち、お母さん、お父さんの深い絆で結ばれた幸福な愛ある家庭が
今生まれて行くこと、世界にあふれることを目指します。

私たちは、美しい未来のため、幸福な愛ある家庭を追求する、
世界一の企業になります。



Value

わたしたちの約束

03

Value

わたしたちの約束

美しい心・求める心・誇れる心

美しい心

私たちは、純粋な気持ちを持ち、子どもたちへ徳育を提供します。
子どもたちへ関わるため、私たち自身も心を育てていきます。
私たちは**美しい心**をすべてのベースとして大切にします。

求める心

私たちは完全性を追求します。
そのために美しい心をベースにしながらも、世のため、人のために
現状に満足せずに成長をし続けます。
そんな**求める心**を常に持ちます。

誇れる心

私たちは共生発想を持つことで人に感動を与えます。
感動は感謝につながり私たちの自信につながります。
私たちが持つ**誇れる心**が、愛のある思いやりをもった行動につながります。



03-1
Value
わたしたちの約束



03-1

Value
わたしたちの約束

美しい心

私たちは、純粋な気持ちを持ち、子どもたちへ徳育を提供します。

子どもたちへ関わるため、私たち自身も心を育てていきます。

私たちは美しい心をすべてのベースとして大切にします。

基本姿勢

関わる人々、
全てに“無条件の愛”を届けよう

美しい心を持ち、

子どもたちやお父さん、お母さん、コペルに関わる人々に
幸せになってもらいたいという無条件の愛を届けます。



片山 優奈 / 経理担当

東京本部ではオフィスに笑顔が絶えません。みな美しい心
で人と接している証拠ですね！愛溢れる環境で働けること
に感謝です。



03-1

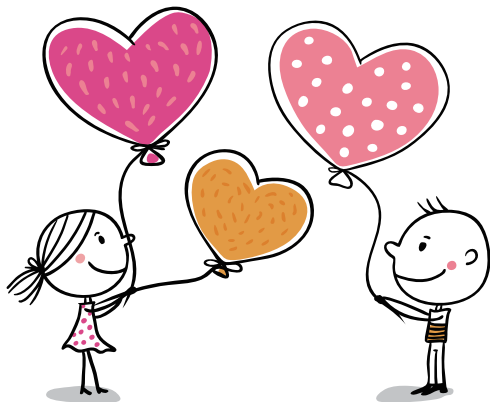
Value
美しい心

ありたい姿

“上質”な人間を目指そう

美しい心により、“上質”な人間、
つまり人間力を持つひとになります。

人間力とは、思いやりや親切、誰かのために動けることです。



齋藤 珠侑 / 採用担当

「上質な人間」の定義は人によって違うと思います。誰かを思い、助け合い、一緒成長してく。私は、チーム全体を向上させることに貢献できる人間を目指したいです。



あるべき姿

”全体の幸福”を追求しよう

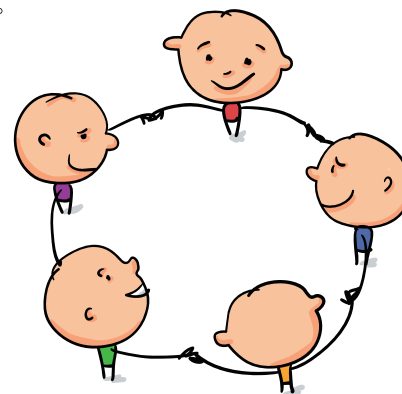
美しい心は、幸せを追求することに繋がります。

誰か目の前の一人だけでなく、
周りのひと、これから関わる人々の幸福を考えます。



単 翠櫻 / 海外教室担当

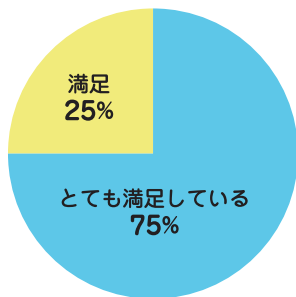
人間は人を助けたい、世の中に役に立ちたい美しい本能(心)があります。コベルの教育は子供のもつ潜在能力が滞りなく発揮され、愛と自信にあふれて全脳型の人になります。全脳を使うと、自然に美しい心が溢れてきます。全脳型の人が増えますと、戦争もなく、平和な世界になり、よりよい世界になる、世界中の子どもたちが笑顔です。



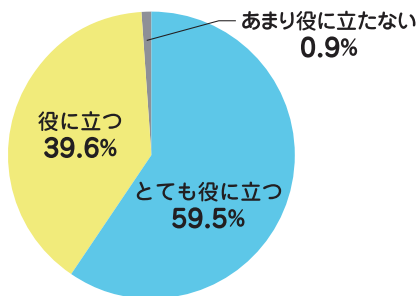
コペル30周年アンケート結果



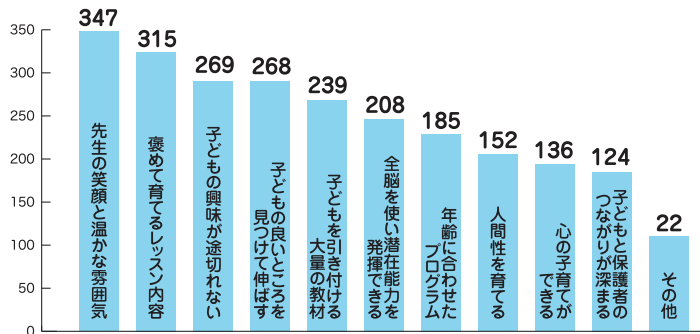
レッスンに満足していますか？



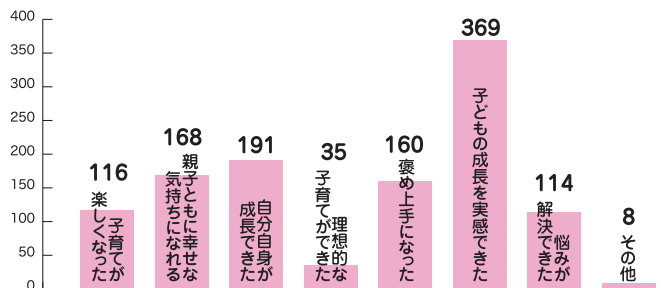
教室は子育てに役立っていますか？



レッスンについてここが良いと思うところは？ (複数選択可)



教室で学んだ子育てで良いと思われることは？ (複数選択可)



03-2
Value
わたしたちの約束



03-2
Value
わたしたちの約束

求める心

私たちは完全性を追求します。

そのために美しい心をベースにしながらも、世のため、人のために

現状に満足せずに成長をし続けます。

そんな**求める心**を常に持ちます。

03-2

Value
求める心

基本姿勢

120%の姿勢で、 自己ベストを更新し続けよう

求める心とは、成長し続けることです。
100%で満足せず、120%を常に目指すことで、
自己ベストを更新し、成長することができます。

南口 美穂 先生
白淵 藍里 先生
黒田 恵利 先生 / コベル有明ガーデン教室

あるがままの姿を愛され育った芽は、素敵な花を咲かせます。そして次に沢山の人を認め愛します。私たちは一人一人の幸せを毎日願ひ、今だけを見ず力を伸ばしていきます！



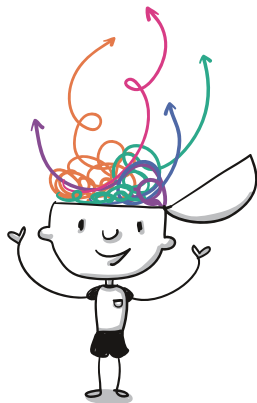
03-2

Value
求める心

ありたい姿

真心こめて、 一所懸命に基本を磨き続けよう

求める心は、新しいことだけでなく、
これまで大切にしてきたことを磨き続けることにも繋がります。
私たちは、基本に対して、真心こめて向かい合います。



甲斐 裕子 先生 / 研修担当(20年以上講師経験者)

講師・指導員になるには研修と認定試験に合格する必要があります。認定試験は、「本当の優しさは厳しさ」であると考えています。一切の妥協を許さず、プロとしての誇りをもてるよう、年に一度の講師・指導員更新試験も頑なまでに、品質にこだわります。



03-2

Value
求める心

あるべき姿

子どものように、素直であろう

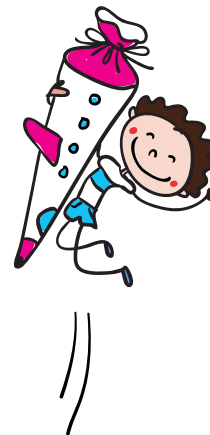
求める心を持つために、素直であることが何よりも大切です。

子どもたちと関わりを持つ私たちだからこそ、
子どものような素直さは持ち続けたいです。



小菅 哲也 / 上場準備担当

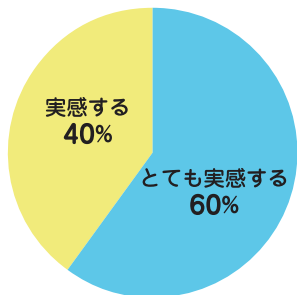
思い込みや決めつけをせず、真っ直ぐな目で物事を見ること、安易に限界を設けないこと。熱中することのような気持ちを大切に。



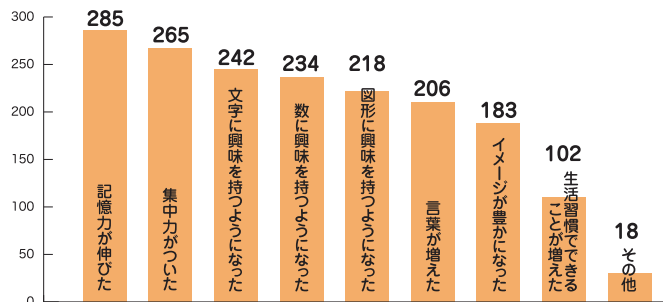
コペル30周年アンケート結果



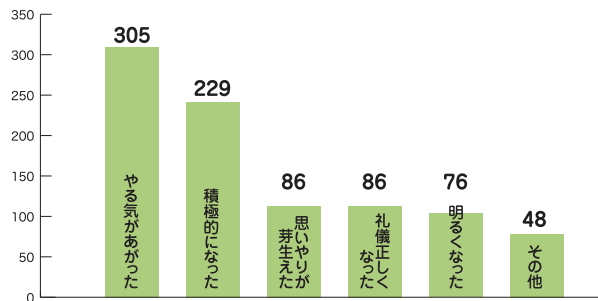
教室に通室してお子様の成長を実感されていますか？



成果を感じた能力の向上を選択してください（複数選択可）



成果を感じた心の成長を選択してください（複数選択可）



03-3
Value
わたしたちの約束



誇れる心

私たちは共生発想を持つことで人に感動を与えます。

感動は感謝につながり私たちの自信につながります。

私たちが持つ**誇れる心**が、愛のある思いやりをもった行動につながります。

03-3

Value
誇れる心

基本姿勢

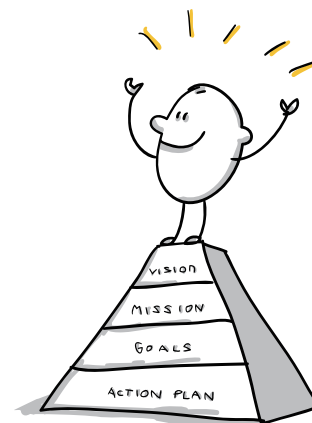
”子育てなら世界一”という プロ意識を持とう

誇れる心を持ち、プロとして、振る舞う必要があります。
一人よがりにならず、これまで大切にしてきた共生発想を持ち、
他人のことを思ってきたからこそ、このプロ意識が生まれます。



山口 健太 / 営業担当

お客様にご説明するからにはコベルの仲間は全員子育てのプロ!
こどもの可能性は無限大ですが、皆さんの可能性も無限大です!



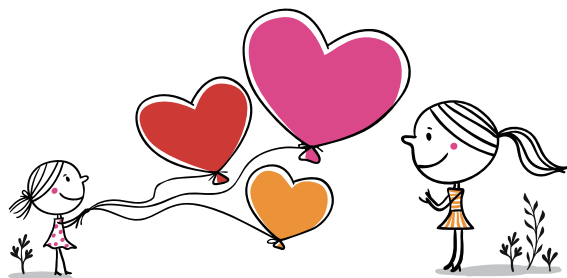
03-3

Value
誇れる心

ありたい姿

一期一会のこの瞬間に 全力を尽くそう

誇れる心を持つということは
一日も早く、美しい未来をつくりたいという気持ちです。
今、目の前にいる子どもたち、親御さんに、最高の教育を提供します。



手塚 千穂 先生 / 開校担当(15年以上講師経験者)

「教育で美しい未来をつくる」それは私の仕事の原動力となっていることばです。今、目の前にいる子どもたちへの教育は、まだ見ぬ未来の子どもたちの笑顔につながっていると信じています。



03-3

Value
誇れる心

あるべき姿

長年の研究に基づいた 教育効果へのこだわり

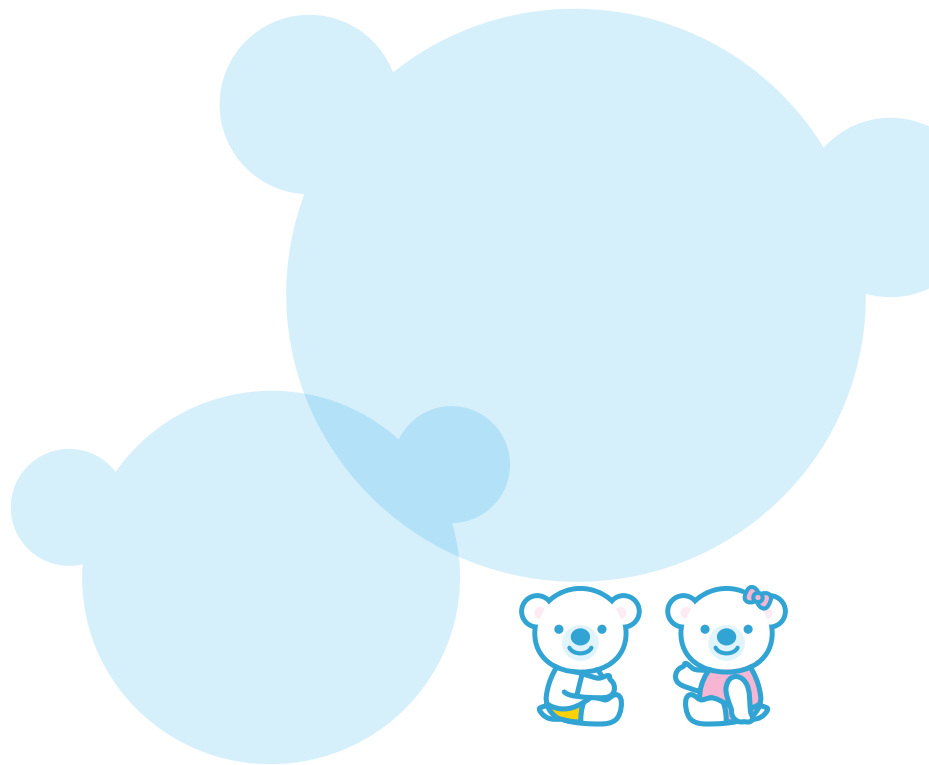
誇れる心の根本には、私たちが長年磨き続けた、
ノウハウや教材、それに基づいた教育効果があります。
私たちは常にこれまでのコペルの歴史をこれからも大切にします。



成瀬 弘美 先生 / マーケティング担当(20年以上講師経験者)

コペルの教材は約2000種類、フラッシュカードは約13000枚、楽しめるように工夫されたプリント教材が約7000枚、オリジナルの曲は100曲以上…。教材開発は30年間ずっと続けていますし、これからも続きます。『子供の目が輝く瞬間』を突き詰めるため私たちの教材開発は未来永劫続くのです。合言葉は『マグロ』です！







先生と大きな声で呼ぶ姿二ヶ月前と別人の君

ぺるくんのシールがここにも貼ってある
絵本やおモチャや寝た母の顔

レッスン中 パバも褒められ 上機嫌

パパママも 悩む問題 数多し
スラスラ解いて ドヤ顔の息子

コペルまで 走る我が子を 追いかける

きょうコペル?
まいにちコペル なぜなの?

みっちゃんはペルくん行ってくるからね
正座で仏壇つぶやく2歳

「大丈夫!」頑張ってますよ」「できてます」
安心子育て先生ありき

今日コペル?
毎日たずねるかがやく目



動物園 シロクマみつけて ペーと叫ぶ

コベルから無限の力もらったよ
光輝け息子の未来

見ているよキラキラひかるまなざしを
だれもがしゅやく それがコベルだ！

先生は 個性を伸ばす 魔法使い

懸命にお勉強した証だね帰宅後昼寝君の横顔

2年間 毎日聞かれる コベルまだ？

朝起きて 一言目には 今日コベル？

勉強を楽しむ気持ち身につける
それがコベルのすごいところ

ママだっこ ペルくん見えた 猛ダッシュ





コペルにも あったらしいな 中学コース

子育ての苦悩喜び分かち合い
心安らぐ温かな場所

泣いてても笑顔になるよ不思議だね
先生たちの素敵魔法

ぼろぼろの 皆伝握り 発表へ
めげずに挑み あと八ページ

今日コペル？ 見上げる我が子の眼が輝かる

コペルの帰り赤い空見て不思議がる
大きくなった我が子の影よ

月一の大好きな実験
「今日実験？」といつも自転車の後ろ声がする

プリントでつい探しちゃうおんなのこ
かわいいあなたリボンのルル

コペル後の 公園で聞く 今日うた



うたきいてみちてはかけるおつきさま
なまえをしてみたのしくなった

将来の息子のためにはじめたが
母にとっても学びの場なり

「もう少し」シール貼るたび教えたよ
今日はベルくんバッチ記念日

会うたびに 増えることわざ 得意顔
そして膨らむ 鼻の穴

「コペルある？」確認するほど大好きで
一度も休まず皆勤賞！

覚えるとすらすら出るよことわざも
聞いてもらって笑顔の私

おねむでも コペルときくと ふっかつだ





当たり前のことに感謝の気持ちを

佐藤 裕子／練馬教室

我が家にはコペルっ子が二人います。小学2年生の娘Yと年少の息子K。中でも息子は生粋のコペルっ子です。

娘は年中になる直前にコペルを始めました。毎週楽しそうにコペルに通い、本人のペースでのんびりと、しかし着実にプリントやワーク、暗唱をこなして行きました。一方、赤ちゃんの頃から姉に付き添っていた弟は、お喋りが始まる頃には大好きなお姉ちゃんそっちのけでコペルの先生とお話したり、壁に貼ってあるペルくんに挨拶をしたり、のんびりお留守番をするより「コペル行く!」と付き添いを希望するようになりました。

そして2歳になる頃、初めてコペルの体験レッスンを受けました。憧れの椅子に座りワクワクが止まらない息子。聞き慣れた挨拶の歌から始まり、初めての取り組みにも一生懸命向き合い、翌月から入会しました。息子にとって毎週の楽しみになったコペル。しかし、始めて4ヶ月目、新型コロナウイルスの影響で休校になってしまいました。寂しそうにしていますが、送っていただいたプリントで姉と一緒に自宅コペルを行い、歌のお姉さんのYou Tubeで姉と一緒にコペルの歌を覚えていきました。やっと再開した時には、挨拶の歌が流れると嬉しすぎて椅子から転げ落ちたほどです(笑)

そんな息子も、好き嫌いが出てきたのか、プリントより暗唱に力を入れるようになりました。どんどん判子が増える暗唱にひきかえ、牛歩の歩みのプリント。年少さんになっても前年度のプリントが終わらないままでした。

しかしある日、転機が訪れました。一緒にレッスンを受けていたお友達Kちゃんがプリントを終了してペルくんのメダルをもらったのです。ペルくん大好きな息子にとっては一大事。

「ばく、ペルくんのメダルもらってないよ!なんで?」と大騒ぎ!

「あのメダルはプリントを一生懸命やって、全部終わったらもらえるんだよ。」と伝えると、

「ばく、プリント頑張る!」と火がつかしました。

その日から本当にやる気を出して、自らプリントをやりたいと言うようになり、あれだけ進まなかったプリントがあれよあれよと言う間に終わってしまいました。

そしてめでたくペルくんメダルをゲット。大喜びで帰宅して、姉にもメダルをお披露目していました。みんなから口々に「よく頑張ったね!」と褒められ得意そうにしていました。すると徐ろに、首にかけていたメダルを外し、ママの首にかけてくれました。

「ママにもかけさせてくれるの?ありがとう!」とママが言うと、

「ママ、いつもプリントや暗唱を教えてくれてありがとう!」とペコリ。

そして、ママの首からメダルを外すと姉の首へ。

「ねーね、いつも一緒にプリントやってくれてありがとう。教えてくれてありがとう!」とペコリ。ついでに二人でぎゅー!

最後にパパの首にもかけて、「パパもプリント教えてくれてありがとう!」とペコリ。

「褒められて嬉しい!」という気持ちから、一歩進んで「これはパパ、ママ、ねーねのおかげでもある」と気付いて自ら感謝の気持ちを伝えられた3歳の息子。「当たり前のこと」に、感謝の気持ちを持っているのはまだまだ先だろうと思っていたパパとママでしたが、目には見えない気持ちも心もしっかり成長させている息子を誇らしく思います。

コペルで育てていただいている心の成長も大切に、これからも先生方と一緒に、子供達を見守りたいと思います。



子どもを愛し、尊重し、信じ、認め、見守る。

西川 まどか／福岡東教室

我が家には2人の子どもがおり、2人とも1歳10ヶ月頃にコペルに入室しました。入室してからは、大人が驚くようなことがたくさん出来る様になりましたし、様々な成長を見る機会もたくさんありました。

子どもたちが何かできるようになったことは本当に幸せなことです。しかし、子どもたちがコペルに通うことで私が見つけた幸せは、別にあります。それは、コペルの先生方に出会えたこと。子育てで悩む私の心を幾度となく救い、寄り添ってくれる先生方と出会えたことです。

現在、小学一年生になる息子ですが、彼は3歳までほとんどおしゃべりができませんでした。文章はおろか、しゃべられる言葉は10語にも満たなかったように記憶しています。

他の子は喋れるし、親と意思の疎通もできて、暗唱入門にも取り組み始めているのに。うちの子には、そんなことできるわけない。だってこの子はおしゃべりができないんだから。3歳児健診の際も、保健師さんに指摘をもらい、保健所へ知能の検査を受けに行ったこともありました。

コペルの面談で、先生に息子の発語について相談した時、先生はこう言ってくれました。

『息子さんの成長を見守りませんか。レッスン中の息子さんの様子を見ると、息子さんはこちらの言葉を理解していると感じます。そして彼自身も言葉が始める時を待っているんだと思います。』と。

私は先生の言葉を素直に信じることができました。なぜなら、先生は週に一回であろうと、一緒に息子の成長を見守り、その成長と一緒に喜ん

でくれる人だから。息子の良いところを褒め、息子の全てを認めてくれている人だから。

それまで、言葉での意思疎通が出来ず、親子でもがき、誰に相談してもマイナスな方向にしか考えられなかった思考がパッと切り替わり、目の前の暗い景色が晴れ渡った気がしました。まだ言葉が話せなくても、表情やジェスチャーで自分の思いや伝えたいことをがんばって表現している息子を認め、愛おしく思うことができました。

この事は、コペルの先生方への信頼を深め、コペルの存在の大きさを感じた出来事となりました。

3歳になる娘の先生も娘に大きな愛を持って、見守ってくれています。

ある日のレッスン中、『娘さん、初めて自分で取り組んでくれましたね！私も凄く嬉しいです！』と、先生がとても喜んでくれたことがあります。

娘は、みんなでジャンプしたり、ダンスをする、体を動かすレッスンがとても苦手でした。ほかのレッスンはとても好奇心旺盛なのに、そのレッスンだけは体が固まって、抱っこをせがむのです。私は、何で出来ないんだろう？どうしてなんだろう？と、ダメなところを探して、どうにか娘にそれをさせる方法を考えていましたが、先生は違いました。『そっか、じゃあママの抱っこでしてみようか！今日は嫌なんだね！』と、いつも無理強いはせず、見守ってくれました。娘がそのレッスンを無理なく受け入れるタイミングを待っていてくれたのです。

そしてコペルに入室して一年半経ったある日のこと、突然ノリノリで娘が体を動かし始めたのです。しかし私はその変化に、すぐには気がつ



感動ストーリー

きませんでした。でも先生は、その娘の変化を見逃すことなく、母である私より先に、成長を喜んでくれたのです。

娘の成長や変化が嬉しかったのはもちろんの事ですが、私より早く子どもの成長を発見し、それを心から喜んでくれる人がいるという、この幸福を噛みしめずにはいられませんでした。

先生方がこの子どもたちの未来を、子どもたちを信じてくれている。その姿勢は、私の背中をいつも優しく押してくれます。

また、先生方が子どもの成長を喜んでくれる姿は、何も心配することなく子どもの成長を素直に喜び、見守っていいのだと、子育てに臆病な私の心を優しく包んでくれます。

先生方は、私が子どもに対してネガティブな感情を持っていても、

『それも成長ですよね!』

『そういう時期ですもんね!』

『そういう事に興味があるんですね!』

『素敵なお個性だと思います!』

と、何度も言ってくれました。親が悩んで挫けそうな時、先生方は子どものありのままを受け止める言葉をそっと私の心に置いていってください、その言葉は私の心をふっと軽くしてくれます。

もう一つ、私がコペルで見つけた幸せがあります。それは、コペルの素晴らしい教育方針に出会えたことです。

私の事を書くのは憚られるのですが、私自身とても自己肯定感が低く、子育てにおいてもその特徴が出ており、どんなときも正解を探したり、子どものダメなところを見つけて正そうとするクセがあります。

コペルの教育に出会ってからは、少しずつ肩の力を抜いて子どもの成長や個性を信じられるようになりました。先生方の子どもたちに対する姿勢やポジティブな言葉のシャワーを毎週見て、学ばせて頂いているからに違いありません。

コペルの教室のホワイトボードには、コペルの教育方針が貼ってあります。

- ・無条件の愛を与え、子どもを尊重して育てる。
- ・子どもの中に必要な力があると信じる。
- ・一緒に喜び、一緒に感動、暖かく見守る。
- ・知育に偏らず、徳育を大切にします。
- ・あるがままの姿を認めて、比較をしない。

これらの言葉をレッスン中にこっそり読んで自分振り返り、子育てにおいて何を大事にするのか、我が子にとっていい親とは何なのかを考え直す時間になっています。

子どもの成長はもちろん喜ばしく、幸せなことです。その一方で、子ども



が成長することで不安なことも増えます。

今まで私の手のひらの中を安全に泳いでいた、もしくは羽ばたく練習をしていた小さな子どもたちは、いつか自分たちの世界を探し見つけ出し、大海原に出たり、広い大空を羽ばたくのです。そこでたくさんの苦労をし、悩み、それを乗り越えていくのではないのでしょうか。

その時に私にできることは。私は我が子の大海原を手を引いて泳いでやることはできません。彼らの大空と一緒に羽ばたいてやることも、できません。

今現在、子どもたちはコペルでそれぞれの能力や個性を伸ばしています。

子どもたちが成長し私の手を離れた時、今度は私がコペルで学んだことを実践する番なのではないかと思えます。

子どもたちを尊重し、信じ、認め、見守り、遠くからでも愛し続ける。コペルで培ったそれぞれの個性や能力を発揮してくれることを信じて。

コペルと先生方との出会いに感謝し、我が子と私がコペルで学んだことを、親子共にこれからの人生に活かしていければと思います。



兄はコペルプラス★弟は幼児教室コペル 年子兄弟そろってコペルっ子です♪

ペンネーム：石井田 麻衣子／鷺沼教室

こんにちは。M・IとE・Iの母の母です。我が家は夫・私・息子2人の4人家族です。毎週、兄のMがコペルプラス、弟のEが幼児教室コペル、に楽しく通わせていただいています。

今回、この企画のお知らせを見て、今の我が家の楽しく充実した生活が幼児教室コペル&コペルプラスと共にあるので、その感謝の思いを伝えたく、応募しました。

まずは兄・Mのお話です。

兄のMが生後6か月になった頃。

家のポストに入っていたチラシで幼児教室コペルを知りました。

私自身が、幼児教育に興味を持っていたので、

チラシを見て「どんなところかな～？」という興味から、体験レッスンを受けに行きました。

体験を受けて。あの…衝撃は今でも忘れられません！

0歳児の赤ちゃんを目の前に、すごいスピードで進んでいくフラッシュカードやお歌…！

でも“お勉強”ではなくって、なんだか楽しい感じ…♪

既存クラスに入っただけの体験だったので、すでに入室している同じ学年の赤ちゃんがいることを知り、母として、とても刺激を受けました。



感動ストーリー

一方、体験時のMの様子は…レッスン中、興味を示したりそっぽ向いてしまったり…。

私は親として入室に興味を持っていましたが、レッスン以外(机やイス、すでに終わった教材など)に興味がいってしまうMだったので「まだ赤ちゃんだし、もう少し大きくなって落ち着いて参加できるようになったら習い始めよう」と、いったん、入室は見送りました。

しかしその後。

Mが2歳になり、幼稚園のプレ(2歳児クラス)に通い始めた頃。

Mの成長を見守るうち、だんだん

「成長のペースがゆっくりなのか、何なのか…とにかく他の子とはちょっと違う…」という、感覚が出始めました。

Mが3歳を過ぎた頃。

幼稚園の入園面接時(2019年11月)に、園側から入園の条件として

“療育機関に通う事”を提示され、

“療育を受けることを勧めるので、まずは地域の療育センターへ相談を”という指示を受けました。

プレ通園の様子を見続けてきた幼稚園からの助言ではありましたが、あまりのショックに、ときが止まったかのようでした。

私自身、これまでMの成長に対して漠然とした不安があったものの、いよいよ具体的に“何か”を突き付けられた瞬間で、親になってから一番気持ちが“落ちた”頃でした…。

私の中にあった「幼稚園に入園したら、まずはコベルに通って♪英語教室もいいな♪スイミングも…♪」という、勝手ながら思い描いていた楽しい“息子と一緒に通う習い事”の理想は、全て崩れ去りました。

でも、落ち込みはしましたが、夫婦の考え方としては、夫も私も「今、Mに療育が必要なら、躊躇せず今すぐに受けさせてあげたい!」でした。

幸いにも!?夫も私も超プラス志向で、切り替えが早く「考え悩むより行動!」ということで、すぐに地域の療育センターへ相談。しかし、予約(診察やその後の色々)はだいぶ先…数か月後に…。

今すぐ療育を受けさせてあげたい!のに、ただ足踏みをする毎日でした…。

それでも入園(2020年4月)までに、少しでも療育を受けたいと考え、ネットで検索する毎日が続きました。そんなときに『コベルプラス』のホームページを偶然、見つけました。

「これって、Mが0歳のときに体験した、幼児教室コベル??ではなさそうだけど…!？」

すぐに、コベルプラスが民間の児童発達支援所であることがわかり、電話で問い合わせました!(2019年末~2020年始の頃だったと思います)

まずは体験の予約をとりました。

この時にとっても印象深かったのが、電話対応をしてくださった方(センター北教室の先生のどなたか)が、Mについて(特性等)を細かく丁寧に話を聞いて下さいました。

このとき私は「体験するんだから、そこでMの様子を見る方が早いのでは?」くらいに思っていました

(恥ずかしながら…)。が、体験を受けた日に、事前に詳しく電話で聞かれた、その理由がわかりました。

体験当日、Mの興味あるものを的確に用意、苦手なものを極力避けるな



どの配慮があり。

それによって、Mの体験が少しでも良い時間に、という…先生方の配慮。「ああ、これが、児童発達支援所なんだなあ!」と。発達の凸凹に配慮しての対応。本当に感動しました。

また、0歳のときに幼児教室コペルで体験を受けていたので、コペルの教材やカリキュラム、考え方など(自己肯定感を高く育てるには?とか。そういう面)、共感できるものばかりでした。これまでは「そういう環境に触れながら育てたいけれど、MIには、集団での習い事は…無理そうだ…」と諦めていたのです。が、その気持ちと状況が一気に反転した出来事でした。

体験後「コペルプラスで、Mの成長に沿った療育を受けながら、楽しく笑顔で親子一緒に通いたい」と、直感。これまでいろんな意味で落ち込んだ気持ちも、コペルプラスに出会えたことで(まだ体験段階ではありましたが)親として、希望を持ったことを、今でも思い出します。

※備考です→同時期に他の児童発達支援所をいくつか見学に行ったのですが…MIに対して酷いことをいわれて落ち込んだり…、方針がけっこう独特(軍隊っぽい感じ)なところもあったり…。特性をもってるだけで、こんなにもヒドイ環境で療育を受けなきゃいけないの??これが療育なの??本当は通わせたくないけど、それでも通わせるべきか??って、心を痛める日々が続いていました。でも、今振り返ると、児童発達支援所も十色なのだと。親がその施設の考え方に沿えるかどうか、って重要だなーとか。。私にとっては、コペルプラスの指針が自分の子育ての考え方に合うなあと感じたのでした。

その後、MIはコペルプラス・センター北教室に2020年2月頃から通い始めました!

通い始めた頃は、Mの強いこだわりで「若めの男性の先生が好き(女性だと泣いてしまう)」状態だったので、先生方のご配慮で、まずは教室に慣れ、楽しく安心できる場所、と思えるようにと、男性の先生が担当していただきました!最初は泣いたり、極度のマイペースさなどで、なかなか出来なかった母子分離も、次第に1人で入室でき、また、少しずつ教室に慣れて、先生と向き合っていけるようになりました。段階を踏んで、女性の先生とも楽しく入室ができるようになりました!(すごい!)

当時3歳。幼稚園・年少。(コロナで入園は6月でした)。登園がはじまると、定型の3歳児のクラスの中で過ごすMを見て、違う面や出来ない事に目がいき(比べるつもりはなくても無意識に比べてしまい)どうしても…落ち込むこともありましたが(笑)。並行してコペルプラスに週2回通い(時にはオンラインで)関わることで、Mの成長のひとつひとつを、前向きに捉えていくことができました。

レッスン後は先生方が「今回は〇〇ができましたね。」とフィードバックしてくださるので、私から見ていて「できなかった」と思う事柄でも「できた!」という視点において考えることが、できたように思います。

なにより、通って感じたのが

★Mが笑顔!!たのしそう!

★Mの興味の幅が広がっていている



感動ストーリー

★Mが先生の顔を見るようになった(コミュニケーションが生まれた!)
★Mが自発的に行動できるようになっている
★人見知りだったMが…今では教室の入り口を入ると、先生めがけて(抱っこして!遊んで!)や
女性の先生にはハグしたり…とにかく、こっちが見ているホッコリする
様子が多々多々多々…!

…などなど……!

Mはいま、5歳ですが(まだおしゃべりは出来ず)単語や一音をぼつぼつ
発語し、あとは指差しとクレーン、という段階です。
ただ、こちらの話していることはほぼ100%理解できるので、
先生とのコミュニケーションを見ていると、とにかく楽しそうでニコニコ
笑顔♪
言葉では、まだ伝えることが難しいですが、
きっとMは、コペルプラスを“ホーム”のように思ってるんだろうなあと、
それは親から見ても確信できるほどですし、見ていて…なんだかホッと
します。

——自閉症スペクトラムで、知的な遅れもあるという診断は
地域の療育センターの診察で2020年3月に出て、すぐ療育手帳も取
得しました。

また2020年度4月から、行政の療育センターの通園枠に入ることもで
き、現在も週1日、幼稚園を休んで通園しています。
当時、手帳申請や各所機関への提出物申請などのため、書類を見るたび
“障害”という文字を目にし、その重みに押しつぶされそうになったこと
が何度もありました。

でも、Mのスモールステップな成長を、一緒に前向きに、あたたかく見
守ってくださる
コペルプラスの先生方がいてくださいました。
レッスン中・前後も、先生方が家・幼稚園・療育センターでのMの様子を、
頻りに聞いてくださいます。
それがきっかけで2021年10月には、コペルプラスの先生が幼稚園へ
訪問してくださり、
園での様子と改善点などを提案報告してくださいました。とてもありが
たく貴重な経験でした。

おかげで私も夫も、Mの笑顔を客観的に見る機会が増え(教室のマジッ
クミラー越しに、じっくり見えています!)
親として、前を向いていられたなあと。
そして親のメンタル面で助けられた部分が大きいなと、感じています。
Mの療育はもちろん、親の私たちや、幼稚園、療育センター(他機関)と
の連携を考えて、総合的にMにとってより良い環境を作ろうと一緒に考
え、ご提案して下さることが、本当にありがたく心強い存在です!!

ここからは、弟・Eの話です。

Eは、Mが1歳半の時に産まれ、学年では年子。(2018年3月の早生まれ
君です)
常にMと一緒に、育ててきました。
Mの幼稚園プレにも一緒に連れて参加していたのですが(Eが1歳半
頃)、
毎回、教室内でのプログラムに参加が難しいMに対して、
Eの方が椅子に着席をして、参加している…なんていう様子もあり(笑)。
私としては「Eは、月齢以上に、しっかりしてるのかな〜?」と、ほほえまし



く見ていました。
が、Mのブレ等のスケジュールに手いっぱい、
Eのために何か習い事をする時間は、なかなか作れないでいました。
Mのコペルプラスにも、Eは毎回付き添いで連れていました。
(Eの心の声)「M兄ちゃんは、コペルプラスにいくと、お部屋に入って、なにやら楽しそうに遊んでいる。。。」
最初はそんな表情をしながら、マジックミラー越しにじっとMのレッスンの様子を見ていました。

しばらくして、Eがおしゃべりできるようになると(2歳を過ぎた頃)
「Eもコペルで遊びたい!」と、強く主張するようになりました!!!
毎回、Mのコペルプラスレッスン後のフィードバック時、お部屋に入ると、
「Eもできるよ!」といわんばかりにMが使っていた教材で、
同じように遊び…アピール!?し始めました!!!
私は「…Eは、コペル(幼児教室の方)向いているかもなあ!」。そう思い始めました。

Mがコペルプラスに通うことでEは個室から漏れ聞こえてくる音楽を聞き、
(コロナ時にいただいたDVDも家でよく流していたので)自然に覚えたようでした。
Eは度々「おてては〜おびざ♪」「あ〜いうえお、かきくけこ〜♪」と、
家で突然、歌い始めました!!この様子を見て、
「Eには幼児教室コペルにいったら、楽しくいろんなことを学べるかもしれない!」
と、…直感しました(^ ^)

Eが幼稚園に入園した頃(2021年4月)。
私はEに「なにか習い事してみる?」ときくと
E「したい!!」と、とっても嬉しそうに、ニコニコで答えました!
そこで、サッカー(東急レイエス)、総合運動(ビーマ)、七田式(右脳系と噂に聞いたので行ってみました)、
そしてコペル(鷺沼教室)♪
この4カ所に、Eの習い事体験をしに行きました。
そして後日、Eにどれがいい?と聞いたら
「コペル!!!」。即答でした(笑)。
念のため、別の日にもう一度聞いてみたら
「Eはコペルだってば!!も〜〜〜!」って(笑)。
(もう聞かないでよコペルなんだから!!くらいのテンションでした(笑))

Eは2021年6月、鷺沼教室に入室しました。
初回からすすんで椅子に座って、先生が提示するものを楽しそうに見て参加することができました。
きっと、1年以上Mのコペルプラス付き添いで、教室の雰囲気や音楽、教材にすでに
慣れていたのでだと思います。
きっと本人にとっては「やっとなら、コペルに行けるんだ!」という感じだったのかな…?

とはいえ最初は1時間じっと見ているだけだったのが、入室して1か月ほど経った頃。
リンクカードなどを見ながら少しずつ、わかるものを、自ら発言し始めました!親の私でも見ていて「次なんだったっけ?」と思うほど長いリンクカード。



感動ストーリー

でも、Eが覚えているものをポンポンと口にします。しかも合っている…！

回答するたび『おお～!!!すごい!』と心で驚きながら感心!!
そんな3歳のEの姿を見て、とっても頼もしく感じました。

通い始めてからというもの、普段から数字やひらがなを目で追って、私に教えてくれるようになりました。
これまでなんとなく頭に入っていたものが、通う事で一気に整理されて、アウトプットされている…のかな…?という様子です。

特に驚いたのは、コペルには自転車に通っているのですが、その時にとめる駐輪場の番号を見ておいて「この番号を覚えておいて、帰りに教えてくれる?」と、なにげなく言ってみました。
「覚えてたらすごいけどね～!」と、私も独り言のように言って、その場は過ぎたのですが、
帰り際。自転車置き場の精算機の前で「何番だっけ…」と番号を見に行こうとする私に「ママ、126番だよ」と、Eが言いました。内心「え?ホントに～? (笑) (心の声) 当たってたらすごいんだけど (笑)」と言いながら確認しに行く…と…
本当に126番で…鳥肌が立ちました (笑)!!
「これ…コペルでやったやつだ!」と数字の記憶カードを思い出しました。

おうちでのプリントは、我が家は特にルールは決めず、やりたいときにやる形をとっているのですが、
通い始めてからEから頻繁に「コペルのプリントやりたい!」と言ってく

れます。

今、おうち遊びの種類のひとつに“コペルのプリント”が追加された感覚です♪(プラレール、おえかき、YouTube、コペルプリント、みたいな感じで)

なによりもうれしかったのは、Eがコペルに通うことで、Mと同じことを出来ている!たのしい!」と実感していることと、
レッスン後はいつも「楽しかったねー!」と、うれしそうにお話してくれます(^ ^)。
そして、そこで得た知識だけでなく、先生に褒められたことがうれしいみたいで「いしぎみくせんせい♡すき♡」とニヤッとしたり(笑)。
家で何かができると「できタッチ!!!」といって、満面の笑みで、どや顔をします!自然と自分自身に“自信”がついた様子です!

幼児教室コペルの日は土曜日。
Eにとって“パパかママのどちらかと一緒に2人だけでお出かけできる”というスペシャルタイムに設定している感じです(笑)。
産まれてからずっと兄のMがいる環境で育っているので、週に一回、パパかママ(自由にEが選ぶ形式)と一緒にお出かけできるのがコペルの日。
というもまた、うれしいのかな～?と、Eの様子を見ていて感じます。

3歳の今(年少4歳児クラス)、自分から“学ぶ楽しさ”を、コペルに通う事で、自然と身につけ始めた感じがしています。

今は、家でMとEが二人一緒にコペルの歌を聞いて歌ったりフリをしたり、YouTubeチャンネル(コペルうたのおねえさん)も、ほぼ毎日、2人そろって楽しそうに見ています♪



Mのコペルプラスに始まり、Eがそれに刺激を受け、今は2人ともコペルっ子に♪
それでアウトプットするEを見て、Mも刺激を受けています。

2人そろって、コペルに楽しく通い、各々成長する様子を見て私たち夫婦は、Mの障害を考えると課題は多いとは思いますが、家族での過ごし方やあり方、みたいなところで、とても前向きに楽しく育児ができ、コペルプラス、幼児教室コペル、両教室での時間はレッスン中だけでなく、我が家の生活の中に常に存在している気がします。

育て方(障害への理解なども含め)の知恵…いや、知恵以上に、多くの面で支えていただいています。

本当に感謝しています!!!ありがとうございます(^^)
日常の何気ない時間がよりプラス思考になり、
楽しく充実した時間が増えたこと、実感できてることが、
何よりの宝物なんだろうなあ〜と、感じる今、です。

これからも幼児教室コペル&コペルプラスに、それぞれ通いながら、M・Eの成長を楽しみに、見守っていきたいと思っています(^^)。
ありがとうございました!



タイムスリップ

ペンネーム：Mちゃんママ／葛西駅前教室

現在6歳の娘はコペルに通える日を楽しみにしています。先生の熱心さや人柄の良さ、レッスン内容、同じクラスのお友達存在が娘にとって心地よい場所となっているからだと思います。

娘が生後4ヶ月の時に夫の勧めで体験レッスンに伺い、生後5ヶ月の時から通いました。母である私は初めての子育てと寝不足で気持ちに余裕がなく家に籠もりがちでしたが、コペルに通うようになり明るい雰囲気の中で娘が赤ちゃんながらレッスンに集中している姿を見てると嬉しい気持ちになり、だんだんと気持ちにゆとりができて子育ても楽しめるようになりました。

その頃に教室で流れていた曲をよく家庭でも歌っていたのですが、特に気に入っていたのは「青いお空」や「反対語」です。抱っこ紐やベビーカーで通っていた母娘のコペル生活も私の2人目出産前には夫が娘に付き添ってくれるようになり、私は年に1回程つきそうくらいで、その度に赤ちゃんの頃と重ねてしまい、まるで赤ちゃんから今の娘にタイムスリップした感覚を覚え、成長した娘の姿に感動しています。

今年の初めに小学校受験をすることになり、2月から受験準備を初めました。受験準備としては遅いスタートでしたが、コペルプリントやワークを家庭でやる習慣があったお陰か、週に1度のコペル通いと塾通い生活に娘もすぐ慣れてくれ、比較的ゆったりとした気持ちで受験準備をすすめていけました。

子供ですので、時には勉強を嫌がる時もありましたが、コペルに行きた



感動ストーリー

がないことは1度もなかったです。

赤ちゃんの頃から見守ってくださり成長を促してくださる先生方。一緒に学ぶお友達。付き添って娘の頑張りを沢山褒める夫。娘を遠くから応援してくれている親戚の方々。。その他沢山。。

数えきれない沢山のありがたい存在に支えられていたことに改めて感謝をしています。

また、娘も人の善意が分かるらしく、「寺島先生も山田先生もどちらも大好き」と申しております。

入学試験日が2日後に迫っていたコペルでのレッスン日、思いがけず山田先生から個別に温かく力強い激励をいただき、涙がでました。

先生の温かいお気持ちとお言葉は、試験会場に行く車内でも娘に伝え、愛情パワーを満タンにして試験に挑めたと思います。

おかげさまで志望校にもご縁をいただきました。

受験塾では、入学試験への合格をめざしてきめ細やかに指導してくださいました。

コペルでは、右脳開発はもちろん自己肯定感や学ぶ楽しさ、継続性、努力し結果を出す喜び等、人生に置いて大切なことを沢山身につけさせてくださいました。

また、娘はよく笑います。外でも家でも笑顔でいることが多いように感じます。これも赤ちゃんの頃に毎日のように歌っていた「青い空」が影響しているのかもしれない。

母である私は晴天時には自然と口ずさみ、あの頃の娘を思い出しキュンとしています。今の娘ももちろん宝物のような存在であり毎日の成長を見ることに幸せを感じますが、心のどこかに手が離れてしまうことへ

の寂しさも感じています。

これから先、娘が成長していった時も、例えばおばさんになったとしても、私は赤ちゃんだった娘と通っていたコペルの光景を思い出しては幸せな気分になるんだと思います。あっという間に過ぎてしまった乳幼児期。。大切な思い出という宝物をコペルが作ってくれたおかげで、いつでもあの頃をありありと思い出することができます。

ミルクの香りがほのかにする可愛い赤ちゃんの娘と親子一緒に楽しくコペルでレッスンを受けていたあの頃。。この上ない幸せな時期だったのだと強く思います。あの時の娘に会いたい時には脳内でタイムスリップしては、娘の成長に関わってくださった沢山の方々も思い出し、嬉しい気持ちとありがたい気持ちで一杯になります。



小学校受験回顧録

ペンネーム：フェニックス・スプラッシュ／赤羽教室

小学校にあがるまでにはひらがなぐらいは覚えていてほしいな。そんな思いで始めたコペルですが、2021年11月、まさかの私立小学校合格通知を頂くことになるとは、夢にも思っていませんでした。

年中さんの秋、お受験クラスの体験レッスンがあるらしい。そんな話を頂いたのですが、小学校受験など考えたことがなかった我が家は、最初は他人事でした。しかし、主人のちょっとやってみようか。という一言がきっかけで、お受験クラスに通うようになりました。

最初は、もし受験をしなくても、何かしら将来本人の役にたてば良いかな。というぐらいの軽い気持ちでした。しかし、始まってすぐに、新宿での合同レッスンがあり、楽しかった、という本人の感想とは裏腹に、主人は真っ青。お受験とはやはりそんなに甘いものではありませんでした。それから、主人と息子のお受験二人三脚が始まりました。ペーパーはもとより、とにかく指先が不器用な息子は、毎回の課題に全く歯が立ちませんでした。最初に描いた絵画は?????というもので、思わず主人が裏返してしまうような出来栄えだったそうです。息子はそれでも毎回毎回楽しそうにお受験クラスに通っていました。櫻井先生の凜とした中にも優しさあふれるレッスンでは、必ず息子の良いところを褒めていただき、息子にとってはとても自信になっているようでした。

課題には息子も主人も一生懸命に取り組んでいましたが新宿の合同レッスンは、それからも辛い回が続いていました。特に制作や絵画は、先生から総評の改善点がすべて当てはまると思えるぐらい、どうやったら合格レベルになるのか、暗中模索の日々でした。

〇も描けない、人のバランスがわからない、木ってどうやって描くの?…息子も大変そうでしたが、教えることがなんと難しいことか。主人もいつも頭を抱えていました。

塵も積もれば山となるとはよく言ったもので、〇も満足に描けなかった息子が、蝉が鳴く頃には、人が描け、動物が描け、なにより描くことが大好きになっているではありませんか!絵画は「1番最後にやる」といつもいっていた息子が、「スケッチブックどこ?これ、描いてみようかな。」と動物や魚の図鑑まで真似するようになりました。最も印象に残っているのは、ザリガニを持った男の子を描いた絵を、新宿の合同レッスン時に宮島先生に褒めていただいたことでした。これは、息子だけではなく、主人にも本当に大きな力となりました。

小学校受験では、こんな難しい問題が?と思うものもありましたが、日本の四季や伝統、マナーなど、普段生活しているだけでは見落としてしまうような、日本人として、人として大切な事が含まれていることに、本当に驚きましたし、時に泣いて頑張っている息子を見ても、頑張れ!と励ますことができる原動力ともなりました。息子は本当に素直に主人について走り続け、最後には自分から模試を受けたい!というまでになりました。そして、先生がおっしゃっていた、子供は最後の最後まで伸びる、は本当であると実感しました。

面接ではちょっと小さな声となり、また、試験当日には、ボタンを掛け違えて出てきてしまうなど、「神様お願いします!」と思わず声に出そうなハプニングもありましたが、無事に合格通知を頂けたときの息子の笑顔は一生忘れることはないでしょう。優しい表情のなかに、力強い少年の顔が見え隠れし、成長を感じる瞬間でした。お受験は、息子の長い人



感動ストーリー

生の中での1通過点ではありませんが、最後まで走り切った息子と、それを支えた続けた主人に心からの敬意を表したいと思っています。

最後となりますが、息子を支えてくださった、櫻井先生をはじめとする、コペルの先生方、普段のレッスンを見てくださっていた、春菜先生、本当にありがとうございました。そして2人目も続くかも?しれません。その際はどうぞよろしくお願いたします。



コペルと成長した一年間

ペンネーム：W.R/コペル札幌元町教室

きっかけはパパの長期の育児休暇取得。コロナによる自粛生活の影響で、やれることも行ける場所も少なく、平日をどう過ごすか考えあぐねていた頃、近くのショッピングモールでコペルの存在を知りました。幼児教室には興味があったので、まずは体験レッスンを受けてみることに。

ところが、まだ1歳になりたての息子、初めての体験レッスン中は椅子に座らせることすら難しく、レッスンの内容にもついていけず、通わせる意味があるのだろうか、まだ早いのではないか、というのが率直な感想でした。

なので、始める前の期待値はあまり高くなく、平日の暇つぶしにでもなれば、無料体験レッスンの間だけでも通わせてみてまた考えたらいい、という話でスタートしました。

すると、次のレッスンからは半分近く椅子に座って取り組んでいたという報告がパパから。新しい取り組みごとに、新しいおもちゃ来た!とばかりに椅子から身を乗り出して向き合っている姿がとても微笑ましく、ついついママも毎回のようには様子を見に行ってしまうほどでした。

同じレッスンに通うお友達とは月齢が近く、切磋琢磨しながら新しいことにチャレンジすることがだんだん楽しくなってきたようで、パパも一緒にあって、来週はコペルで名前を呼ばれたら手を挙げられるように練習しよう、1歳の1の指練習をして来週は返事しよう、と目標を作って取り組むように。コペルで積み木がうまく積めなかった時やパズルがうまくできなかった時は、自宅のおもちゃで、次こそは、と一緒に練習しました。お友達が一足先に上手におしゃべりしていると聞いた時は、それを



目標におしゃべりの練習もしました。

1歳半前後にはコベルワークの日付シールがきっかけでシールに夢中になり、台紙をぐちゃぐちゃにしながらシールを剥がし、日付関係なく手当たり次第シールを貼ったり、コベルワーク以外の場所にもベタベタ貼ったりするようになりました。気がつけば服や靴下にシールが、なんて日常茶飯事。ワークを見ればシールで遊びたがるため、なかなか次のページに進まないこともしばしば。せっかく苦労して一緒に貼ったカレンダーのシールを提出前に剥がされないよう、ワークを隠し、別のシールを渡してみても、目で追っていたのかワークを見つけて出して、シールを全部剥がされたりもしました。シール熱が収まると、次はクレヨンに夢中になり、コベルワーク中の文字を赤色のクレヨンで塗りたくったり、何度も何度も同じ絵を違う色で塗ったりしていました。

コベルの歌も大好きで、お風呂で毎日パパと「あいうえおのうた」や「すうじのうた」を歌ってひらがなや数字を覚え、寝る前も「へんしん、へんし〜ん！」と歌をリクエストしていました。

そんなコベルが大好きな息子、パパの転勤で東京から札幌へ移ってもコベルを続けています！2歳になった今では、弟ができ、イヤイヤも出てくるようになりましたが、そんな時は、「あれ？もうコベル行かないのかな〜？」「〇〇しないとコベル行けないよ〜？」と言われると、「ケベルいく〜うー！」とあと何口か嫌いな野菜を食べてくれたり、おまるでおしっこしてくれたりします。コベルのある土曜日がいつも待ち遠しく、「土曜日がコベルだよ」と教えていたら、「土」の字を見て「どうようび」とわかるようになり、それをきっかけに「きょうなんようび〜？」とよく曜日を聞くようになりました。

一番最初に覚えた駅の名前も「元町駅」です。先日、寝る前に、「おまるでおしっこできたらコベル行こうね」と話していたら、おしっこした後、「ケベルいこ！」と夜にも関わらず、玄関に走っていき、そんな姿にパパと二人で大笑いしました。

コベルがきっかけで文字・数に興味を持ち、今でも熱心に勉強していますが、遊びのような感覚でこんなにどんどん覚えていってくれるんだ！と気づかせてくれたことにはとても感謝しています。

また、コベルワークは今でも大好きで、最近のブームは、カレンダーのページにある童謡を一つずつ「つぎはね〜」とパパに見せて歌ってもらうことです。カレンダーも、曜日を目印に、「きょうはここだね」等と話しながら、実際のカレンダーに合わせてシールが貼れるようになりました。自力のできる気がしなかったワークのその他の課題も、さくさくこなせるようになり、やり終えると、「あとここはパパね」とこそだてはいくを割り振ります。

こそだてはいくはずとパパの担当で、筆ペンで書き上げたものを出したり、季語や掛詞にもこだわるパパ。元々通っていた東京の教室の先生方やお友達にも見つけてもらえたらと、プレバト！を見て研究もする力の入れようです。今では大切な生活の一部になっているコベル。今後も、どんな成長が見られるか楽しみです！

小学生対象調査 分析結果報告書

(2020年10月6日 瀧晴之、松平泉)

▶ 共同研究の目的

御社の教育が子どもの非認知能力・認知能力を育み、well-beingの発達に寄与することの心理学的エビデンスを得ること。

2022年7月～8月は小学校低学年児を対象として、生徒様(コベル群)と対照群の認知能力や非認知能力を比較し、御社の教育の効果検証を行った。



▶ 研究方法

参加者	コベル群(N=41)	対照群(N=27)
平均年齢	7.34歳	7.51歳
性別	男子27名、女子14名	男子10名、女子17名
居住地	仙台14名、福岡27名	仙台19名、福岡8名

認知能力検査 / ウェクスラー知能検査(WISC-IV)

全体的な認知能力と言語理解、知覚推理、作業記憶、処理速度の能力を数値化する検査。年齢による差が無いように作成されている。

非認知能力検査 / 小学生版QOL尺度(親用)

保護者の視点から子どものWell-beingを評価する尺度。身体的健康、精神的健康、自尊感情、家族、友だち、学校生活の6下位領域がある。

分析方法 / 独立した2群のt検定

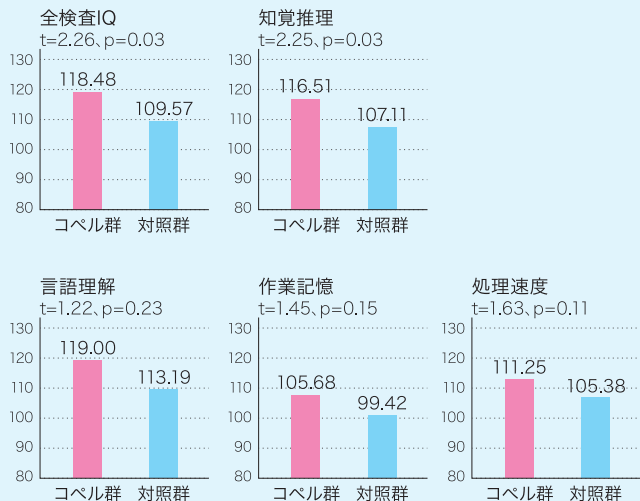
(コベル群、対照群の平均値を比較)

記入漏れサンプル等を除外して、最終的な分析対象はコベル群35名(男子22名、女子13名)対照群26名(男子10名、女子16名)

▶ 分析結果

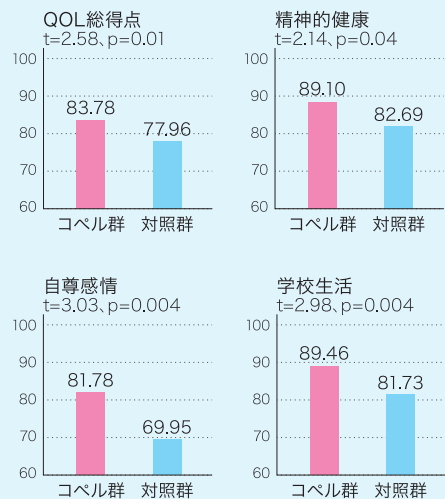
① 認知能力検査の得点の群間比較

コベル群は対照群よりも全検査IQと知覚推理指標（視覚情報の処理抽象的な概念の理解）の得点が有意に高いことが確認された。



② 非認知能力検査(QOL)の得点の群間比較

コベル群は対照群よりもQOL総合、精神的健康、自尊感情、学校生活の得点が有意に高いことが確認された。





会社概要

社 名 : 株式会社 コペル

所 在 地 : <本社>

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー10F

<福岡本部>

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-1-16 橋口ビル 2F

Tel:0800-777-8777

代 表 者 : 代表取締役社長 大坪信之

事 業 内 容 : ・幼児教室事業(幼児教室コペル)

・幼児教育教材販売

・児童発達支援事業

・放課後等デイサービス事業

